

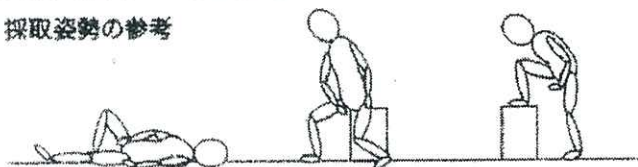
ヒトパピローマウィルス検査（HPV検査） 採取方法説明書

この検査は、子宮頸がんを発生させる13種類の高リスクHPVへの感染の有無を調べます。
ご使用前に必ずこの説明書をよく読んで、正しくお使いください。

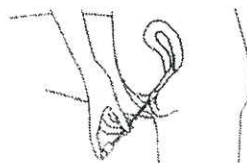
【検体の採取方法】

- ①採取用綿棒を開封します。この時、綿棒の先が手や他の場所に触れないようにしてください。
- ②下記のイラストを参考に、楽に挿入ができる姿勢をとってください。

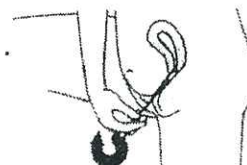
採取姿勢の参考



- ③右記のイラストのように綿棒を膣内に挿入していきます。うまく入らない時は角度を変えてみてください。



- ④綿棒を半分程度挿入し、軽い抵抗感を感じる所で止めて、5回程度綿棒を回転してください。



- ⑤綿棒を抜き取り、プラスチック容器に入れます。
- ⑥プラスチック容器を初めに入っていたチャック付きのビニール袋に入れてください。

【ご使用上の注意事項】

- 妊娠中、妊娠の可能性のある方は使用しないでください。
- 手を清潔にしてからご使用ください。
- 生理中の方は、生理が終わってからご使用ください。
- 使用前の性交、膣洗浄は避けてください。
- 採取後の検体は、車中や高温になる場所には絶対に置かないでください。
- しっかりと膣内に挿入し、十分な検体を採取してください。
- 検査以外の目的で使用しないでください。
- 器具を丁寧に扱ってください。ゆっくり膣に挿入し、ゆっくり出してください。
- 万一使用後に体調の変化がある場合は、医療機関にご相談ください。

HPVが陽性の方、および、陰性であっても気になる症状がある方は、HPV検査結果を医療機関へ提示し、専門医へ相談、確定診断することをお勧めします。